

自然環境保全センターの取組み

丹沢大山地域の自然環境や水源林の保全・再生をめざして、事業・普及・企画・研究の各部門が一体となって業務を推進しています。

県民協働による自然再生等の推進



丹沢大山自然再生委員会との連携



自然観察を通じた普及啓発



清掃活動

自然再生等の事業実施



植生保護柵の設置



シカ管理捕獲



登山道整備・補修



人工林の整備



ぜひ自然環境保全センターにもお越しください

展示室では、自然の仕組みや再生の取組みを紹介。丹沢のブナ林を再現したジオラマもあります。

併設の自然観察園と樹木観察園では、身近な自然に親しむこともできます。

アクセス：本厚木駅よりバス（七沢行きなど）35分
「馬場リハビリ入口」で下車、徒歩10分

神奈川 保全センター



自然環境保全センターの主な研究課題

自然環境保全センターでは、多様で豊かな自然環境の保全・再生と活用を長期目標とし、主に丹沢大山自然再生計画やかながわ水源環境保全・再生実行5か年計画等の取組みに関連した試験研究を推進しています。ここでは、主な研究課題を紹介します。

ブナ林の再生にかかる研究開発

水源林の中でも特に貴重な自然生態系であるブナ林について、ブナ林衰退機構に関する研究成果を踏まえて、効果的な再生対策を展開するために「ブナ林再生指針」を取りまとめ、引き続き対策の検証に取り組んでいます。



大規模ギャップの森林再生試験



大気・気象モニタリング調査



ブナハバチ被害防除試験

水源林の機能評価にかかるモニタリング調査

「第3期かながわ水源環境保全・再生実行5か年計画」に基づき、施策の効果をわかりやすく説明するため、また施策を柔軟に推進するために、水源かん養機能評価と生物多様性機能評価にかかるモニタリング調査に取り組んでいます。



水源かん養機能調査



生物多様性機能調査（植物）



生物多様性機能調査（動物）

スギ・ヒノキの人工林管理技術の改良

社会問題になっているスギ・ヒノキ花粉症に対し、これまでの研究成果を踏まえ、無花粉ヒノキの早期実用化や無花粉スギ苗木生産の効率化、また雄花着花量調査等に引き続き取り組んでいます。



無花粉ヒノキの特性説明



ヒノキの人工交配



無花粉スギ閉鎖系採種園